

千葉県立佐原病院の中庭花壇などがテレビで紹介されます

NHK・Eテレ「趣味の園芸」

H25年 7月21日（日）午前 8:30～8:55

（再放送 木曜日 午前 10:30～10:55）

千葉県立佐原病院では10年以上前から、周囲の住民の方や病院職員OBなどがボランティアで、患者さんたちのために病院を花で満たそうと花壇などを整備し、きめ細かい手入れを続けてきました。

1999年4月に私が国立がん研究センターから院長として佐原病院に赴任した時は、新館ができたものの、県道16号（八日市場小見川線）から佐原病院新館脇を通過して利根川沿いの国道356号線に連なる市道を造成中で、市道と病院の間は雑草が生い茂っていました。また佐原病院の新館と旧館の間の中庭には「がれき」が散乱しているわびしい状況でした。これでは県立病院として地域住民の信頼は得られないと、病院職員のボランティアと周囲住民の方が協力して、雑草を引き抜ききれいなお花を植え、環境整備をスタートさせました。

そんな中、小児外科医として30年前に佐原病院に勤めていた竜の親友である永井米二郎医師が病を得て入院してきました。余命いくばくもないと知った永井医師はこのボランティアの精神に感動し、瓦礫が散乱していた中庭に藤棚と花壇を寄付してくれました。鋤入れ式は、当時の大槻千葉県副知事の参加を得て盛大に行われました。永井医師は、この鋤入れ式を見届けその数日後に意識不明となり亡くなりました。その後入院された作家の柳原和子さんも、ボランティアの活動に共感され、枝垂桜を寄付されました。これらの善意をつなぎ、多くのボランティアの力で10数年間手入れや整備が継続され、患者さんの心を和ませています。こうして見事に整えられた中庭が、今回、NHK・Eテレの「趣味の園芸」で取り上げられることになりました。皆さん是非、放送をご覧ください。

NPO法人 医療・福祉ネットワーク千葉

理事長 竜 崇正

趣味の園芸「化スカズ

千葉県立佐原病院 中庭花壇

